

CASBEE® 広島

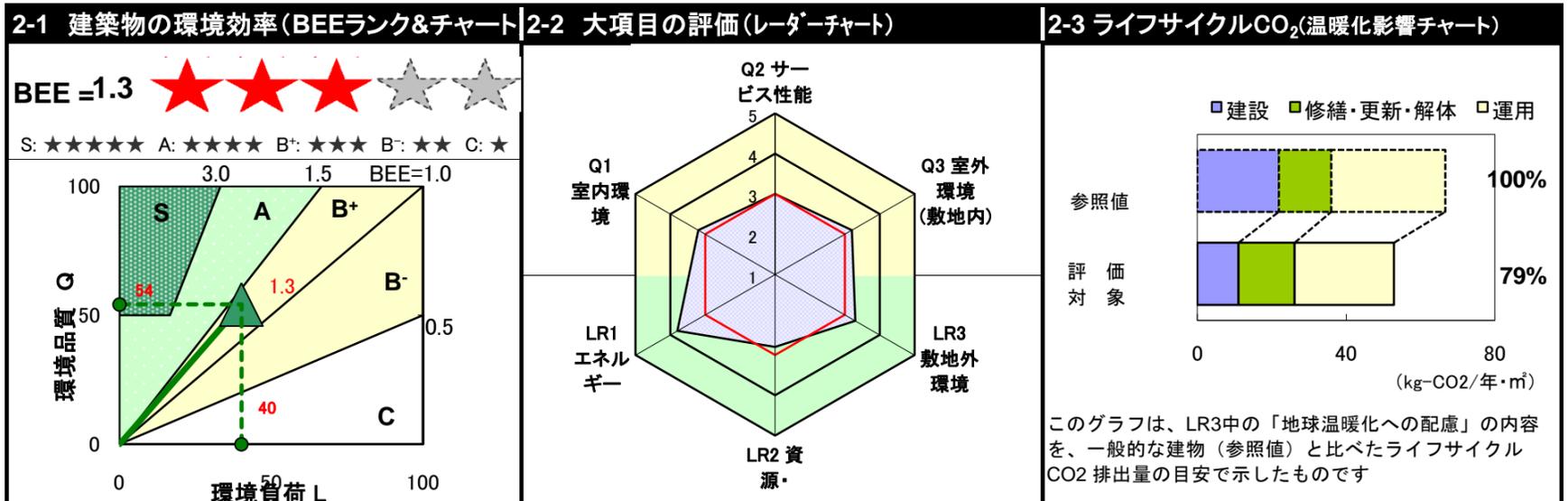
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アルファステイツ西原	階数	地上10F
建設地	広島市安佐南区西原2丁目2191-4他	構造	RC造
用途地域	準工業地域・防火指定無し	平均居住人員	252 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年2月 予定	評価の実施日	2011年12月14日
敷地面積	2,856 m ²	作成者	株式会社真野設計野田智也
建築面積	897 m ²	確認日	2011年12月15日
延床面積	6,500 m ²	確認者	株式会社真野設計真野典彦



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.4	スコア = 2.8	スコア = 3.1
<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>住宅性能省エネ等級3相当としました。自主基準で熱橋補強を実施しました / 2方向面に有効な採光通風を確保しています。 / ガス給湯器(エコジョーズ)を使用しています。高効率の照明器具を採用ともに点灯方式にも配慮しました / 極力節水用の給水栓を採用しました。杭のコンクリートには高炉セメントを採用。 / 可能な限りCO₂排出を抑制します。</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>緑地を多く設けランドスケープに配慮しています / 離合可能な車路を確保し100%以上の駐車場を確保。歩車道分離も配慮した</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>躯体材料の耐用年数は劣化対策等級2相当 / 空配管内に配線・呼び線を挿入することで、仕上げ材を傷めることなく通信配線の更新・修繕が出来るように計画しました。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される